

# そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第134号

平成30年秋彼岸号  
臨濟宗 宗禅寺  
建長寺派  
住職 高井和正  
閑栖住職 高井正俊  
羽村市川崎2-8-20  
TEL 042-554-1276  
FAX 042-578-3525

暑かった夏も終わり、夜には虫の声が聞こえてきました。宗禅寺のお薬師様は昔々より地域の皆様をお見守りして下さっています。お参りをしていただき御利益をお持ち帰り下さい。檀信徒以外の皆様のご来山も大歓迎致します。薬師講の皆さまを中心に、みなまでお祭りをつくり、楽しみましょう。お誘い合わせてのおでかけをお待ちしております。

# 薬師如来大祭

雨天  
決行

十月六日(土) 午後三時～八時半

◆伊豆河津・栖足寺千葉兼如住職と長谷隆行さん

縦笛とギターの協奏

◆バルーンマリカ バルーンショー



※彼岸早朝坐禅会、二十日～二十六日迄。朝六時～七時です。  
※土曜講座、お待ちしております。

## 薬師祭手作り屋台

村のおじさん、お兄さんがやります。

### 手作り屋台

- 名物鯛焼 (100円)
- 焼きそば (100円)
- 焼鳥 (100円)
- ビール (200円)

### お薬師様からのプレゼント

- 建長汁 ● ポップコーン
- 綿飴 ● ジュース

## 平成三十年薬師如来大祭

- ◆ 14時 ジャンガン町内ふれ回り
  - ◆ 14時40分 御詠歌奉詠
  - ◆ 15時 大祭法要  
百万遍の数珠回し
- 奉納舞台プログラム

- ◆ 15時半 日本舞踊・大正琴
- ◆ 16時20分 子供達の日本舞踊・式典
- ◆ 17時 フラダンス・バルーンショー
- ◆ 18時 縦笛とギターの演奏法話
- ◆ 18時40分 フラメンコ(エルムンドと仲間達)
- ◆ 19時20分 伊庭末男さん民謡ショー

※時間はおおまかな予定です

# 宗禅寺山門施餓鬼会

七月十五日(日)に毎年の山門施餓鬼会を厳修致しました。今年も日曜日に当たりましたので、沢山の皆様のご来山をいただき、本堂内がほぼ満席となりました。

羽村のお盆は七月の新盆になります。山門施餓鬼会はお盆供養の法要として毎年行っております。近隣の和尚様が二十名程お越し下さり、一緒にご読経して下さいます。また、今年には薩摩琵琶と横笛の演奏もございました。



▶ 昨年より和正和尚が導師を務めさせて頂いていただきます。



▶ 左から 篠笛・福原道子さん 薩摩琵琶・坂麗水さん



お帰りの際に。遠方をわざわざありがとうございました。

アコンを新しく交換したためか、逆にエアコンの寒さを感じた方々もいらつしやったのではないかと心配しております。

山門施餓鬼会は来て下さる和尚さんのご都合もあるので、毎年七月十五日午後開催しております。盂蘭盆供養のお塔婆も随時受け付けておりますので、事前にお申し込み下さい。

## 宗禅寺写経会が通算千回を迎えます

毎月一日、十一日、二十一日の午後には客殿で写経会が開かれています。十月十一日に、写経会がいに一千回の記念を迎えます。第一回は記録によれば昭和六十一年二月一日に、たった一人の方のご参加から始まりました。現在は多い時は二十人を越える参加者であふれ、写経後には本堂で般若心経をみんなでお唱えてしています。今年の禅の旅は写経会千回を記念して、東北に震災慰霊の納経をさせていただく旅になります。

写経会はこれからも継続的に開催していきます。毎月一、十一、二十一日午後一時から三時まで開催しています。皆様のご参加をお待ちしております。

## 宗禅寺観音募金

(平成30年6月25日～平成30年9月9日)

皆様からの募金、お義銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越 36,197円

収入 54,824円

支出 60,000円

内訳 20,000円 羽村市社会福祉協議会様  
20,000円 あしなが東日本大震災被災児支援募金様  
20,000円 西東京臨済会災害支援部様

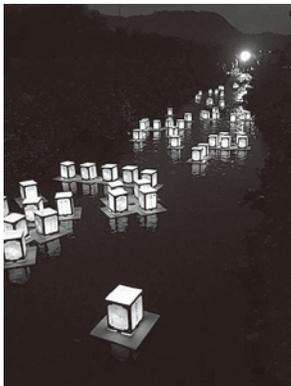
繰越 31,021円

第36回

# 羽村灯籠流し

八月四日(土) 午後六時半より宮ノ下運動公園にて羽村灯籠流しが開催されました。数日前に台風の襲来があり、多摩川の水位の変化が激しい中、実行委員の皆様が開会式中も重機を使つての掘削を行い、灯籠が綺麗に流れるように調整して下さいました。

次回からは監事地区が変わり、実行委員長も交代致します。これまで会場が羽村堰下と宮ノ下運動公園と三年周期で変更してきましたが、これからは宮ノ



闇夜の多摩川に流れる灯籠



宮ノ下運動公園に荘厳棚。実行委員の皆様が準備して下さいます。

下運動公園で一本化していく方向性で話しが進んでいるようです。駐車場も確保していますので、是非一度ご来場いただき、暗闇の中で綺麗に輝く灯籠を一度間近でご觀賞いただければ有り難いです。毎年八月の第一土曜日に開催しています。

最後に橋本弘山実行委員長筆頭にお骨折りましたきました各地区実行委員の皆様がこの場を御礼申し上げます。また、暑い中、様々な準備にお時間を割いていただきました宗禅寺の実行委員の皆様にも御礼申し上げます。誠に有難うございました。



▲読経前に。中央右側は大会会長の並木心市長様



▶川原にて詠歌。禅林寺支部様と合同でお詠みしています。

## 寺子屋委員会 秋の寺社巡りの旅

毎年の日帰り寺社巡りの旅を今年も開催致します。今年には群馬・水上を巡る旅を企画致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

### 寺子屋委員会秋の寺社巡りの旅

【日取り】十月十五日(月) 日帰り

【集合・出発】集合 宗禅寺駐車場 七時四十分  
出発 七時四十五分

【行き先】群馬・水上方面

【会費】お一人様 3,000円 ※会費は当日お納め下さい

【お申し込み】お寺に問い合わせの上、お申し込み下さい。

※定員になり次第、締切とさせていただきます。

## 禅の旅・開催のお知らせ

お寺では一泊二日の寺巡りの旅行を不定期で開催しております。今年十一月十八日(日)～十九日(月)一泊二日で東北震災鎮魂の旅に出かけます。ご興味のある方は、お寺に問い合わせの上、お申し込み下さい。尚、定員になり次第、締切とさせていただきます。

### 宗禅寺・禅の旅

【日取り】十一月十八日(日)～十九日(月)一泊二日

【集合・出発】集合 宗禅寺駐車場 六時十五分  
出発 六時二十分

※交通は専用バスにて

【行き先】宮城県気仙沼・松島海岸など

【宿泊】気仙沼市内

【参加費】お一人様 25,000円にて※当日お納め下さい

## 文庫長だより 島田 秀男

昭和三八年に撮影された写真があります。この写真を見ると、半天を着て、白足袋にわらぞうりを履き、おそろいのハチマキをしています。昭和三八年といえば、東京オリンピックが開催される一年前、そろそろオリンピックムードが高揚するころの川崎青年会による神輿かつぎの様子を伝える写真です。

お祭りには、氏子の庭先や玄關の前に灯ろうを飾ります。この灯ろうは、「地口あんどん」といいます。地口とは、一種の言葉遊びで語呂合わせや駄洒落(だじゃれ)を楽しむものです。いろいろな種類のあんどんがあります。



ます。たとえば、「腹よりだんご」と書かれていて、男の人が腹からだんごを出している絵が描かれているものがあります。元句は

「花よりだんご」です。腹と花の違いがありますが、そこに笑いを求めて描かれたものです。

「地口あんどん」の側面には、「八雲神社」と書いてあります。神明神社のお祭りなのになぜ八雲神社となっているのでしょうか。川崎三丁目八番に「下の天王様(しものてんのうさま)」という神社がありますが、そこに祀られていた神を、大正一〇年に神明神社に移されたのです。

八雲神社には、素戔嗚尊(すさのおのみこと)と牛頭天王(ごずてんのう)が祀られています。牛頭天王は、もとはインドの祇園精舎(寺院のこと)の守護神で、中国から日本に伝えられて、疫病除けの神になったのです。春から夏にかけて疫病が蔓延することが多くありました。昔の人は、これを疫神の祟りと考え、疫病除けの守護神である牛頭天王を祀るようになりました。祭りの当日、牛頭天王を神輿に移し、村の中を練り歩くことよって疫病払いをしているのです。以前は、六月一五日にこのお祭りをしていました。

祭りは、春祭り、夏祭り、秋祭りとして一般的には年三回行っているところが多いようです。春祭りは穀物の豊作を祈願し、秋祭りは収穫できたことに感謝するお祭りです。夏祭りは、疫病退散を祈願します。

春と秋のお祭りには、本殿に神饌(しん

せん)・神酒などの供物をささげ、神を迎えて祝詞(のりと)・神への願い事を申し上げる)をあげ、神とともに食事をします。作物が豊作であろうと凶作であろうと秋には感謝する祭りをしているのです。

八雲神社に祀られている素戔嗚尊は、天照大神の弟。その凶暴さによって地上から追放されます。暴風神、農業神、英雄神など多面的な神とされています。牛頭天王は、別名武塔神(むとうのかみ)といえます。武塔神が北の海から南をめざして旅をしていたとき、日暮れて困り果てて、金持ちの巨旦(こたん)の家に宿を乞いましたが、拒まれてしまいました。次に弟の貧乏な蘇民の家の戸をたたき、一夜の宿を求めました。蘇民は快く宿を提供し、粟飯を馳走しました。武塔神は巨旦に怒って、一家を皆殺しにし、蘇民には、疫病流行のおりには「蘇民将来の子孫」と言えば、必ず疫病の難が免ぜられると言い残し旅立たれたという伝説があります。それ以降、疫病除けに門口に「蘇民将来子孫の家」と墨書し掲げて呪(まじな)いをする家もあるようです。

祭りは、農村社会中心の生活から産業構造の変化や都市の発達に伴い、次第に変容しようとしています。

《参考図書》岡崎学「地口行灯絵解きの楽しさ」

(「羽村市郷土博物館紀要第二七号」)

「羽村の祭り写真集」平成一〇年六月六日

羽村の祭りばやし保存会

# 年忌にあたる御霊位

本年十月から来年二月に節目の年忌を迎える皆様です。ご法要のお申込みはお電話でも大丈夫です。不明な点もお気軽にお寺にご相談下さい。都合でご法要をなさらない場合は、お塔婆を建てての墓参供養もご紹介します。ご家族皆様で真心を形に表しましょう。

## ◆年忌霊位 (十月〜新年二月)

### 一周忌 平成二十九年御逝去

十月	御命日 故人御芳名(敬称略)	御命日	故人御芳名(敬称略)
十月	島田 富夫	十月	星野 正之
十月	大竹 峰人	十月	小宮山 琴枝
十一月	鈴木 寛二	十一月	新井 美雪
十一月	大塚 清子	十一月	雨倉 多賀子
十二月	中野 シゲ子	十二月	中野 シゲ子
十二月	秋葉 ヨネ	十二月	秋葉 ヨネ
平成三十年		平成三十年	
一月	雨倉 政一	一月	雨倉 政一
一月	南雲 和男	一月	南雲 和男
一月	朱通 侖一	一月	朱通 侖一
二月	大野 伸夫	二月	大野 伸夫
二月	神野 洋幸	二月	神野 洋幸
二月	町田 宗治	二月	町田 宗治
二月	金原 富美子	二月	金原 富美子
二月	小俣 正雄	二月	小俣 正雄
二月	小林 茂夫	二月	小林 茂夫
三回忌	平成二十八年御逝去	三回忌	平成二十八年御逝去
十月	木村 保	十月	木村 保
十月	古川 末男	十月	古川 末男
十月	初谷 茂	十月	初谷 茂
十月	渡邊 敬子	十月	渡邊 敬子
十月	山崎 マサ子	十月	山崎 マサ子
十一月	武政 基子	十一月	武政 基子
十二月	中野 光枝	十二月	中野 光枝
十二月	中野 澄枝	十二月	中野 澄枝
十二月	小林 正子	十二月	小林 正子
十二月	古川 結	十二月	古川 結

十二月	雨倉 孝雄	十二月	雨倉 孝雄
十二月	後藤 茂雄	十二月	後藤 茂雄
平成二十九年		平成二十九年	
一月	中野 裕久	一月	中野 裕久
一月	島田 道江	一月	島田 道江
二月	中根 英治	二月	中根 英治
二月	大野 マサ江	二月	大野 マサ江
二月	島田 アイ子	二月	島田 アイ子
二月	秋本 ユキ子	二月	秋本 ユキ子
二月	星野 アヤ子	二月	星野 アヤ子
二月	大野 俊郎	二月	大野 俊郎
二月	樗木 繁	二月	樗木 繁
七回忌	平成二十四年御逝去	七回忌	平成二十四年御逝去
十月	中根 善仁	十月	中根 善仁
十月	比留間 節子	十月	比留間 節子
十月	秋山 喜久雄	十月	秋山 喜久雄
十月	和山 二子 弘	十月	和山 二子 弘
十一月	伊藤 竜也	十一月	伊藤 竜也
十一月	片石 光弘	十一月	片石 光弘
十一月	新井 キヨ	十一月	新井 キヨ
十一月	中里 常策	十一月	中里 常策
十一月	及川 信利	十一月	及川 信利
十二月	小西 すみ江	十二月	小西 すみ江
十二月	新井 金松	十二月	新井 金松
十二月	青山 隆	十二月	青山 隆
十二月	高井 ヨキ	十二月	高井 ヨキ
平成二十五年		平成二十五年	
一月	島田 ナカ	一月	島田 ナカ
二月	石井 ウタ	二月	石井 ウタ
二月	雨倉 正郎	二月	雨倉 正郎
十三回忌	平成十八年御逝去	十三回忌	平成十八年御逝去
十月	中根 ウメ子	十月	中根 ウメ子

十月	飯島 好男	十月	飯島 好男
十月	横田 美知子	十月	横田 美知子
十月	市川 コト子	十月	市川 コト子
十月	吉川 和子	十月	吉川 和子
十一月	鈴木 孝吉	十一月	鈴木 孝吉
十一月	渡邊 修	十一月	渡邊 修
十一月	島田 實	十一月	島田 実
十二月	加藤 キミ子	十二月	加藤 キミ子
十二月	岡部 作市	十二月	岡部 作市
十二月	雨倉 年明	十二月	雨倉 年明
十二月	中野 ケサト	十二月	中野 ケサト
十二月	大野 栄一	十二月	大野 栄一
平成十九年		平成十九年	
一月	中里 セイ	一月	中里 セイ
一月	近藤 フサ	一月	近藤 フサ
一月	田村 龍男	一月	田村 龍男
一月	佐藤 昭男	一月	佐藤 昭男
一月	北村 義廣	一月	北村 義廣
一月	秋山 康一	一月	秋山 康一
一月	金原 敏男	一月	金原 敏男
一月	中野 勝衛	一月	中野 勝衛
一月	村野 廣助	一月	村野 廣助
二月	田中 唯男	二月	田中 唯男
二月	中里 久夫	二月	中里 久夫
二月	立川 正二	二月	立川 正二
十七回忌	平成十四年御逝去	十七回忌	平成十四年御逝去
十月	張田 谷南海男	十月	張田 谷南海男
十月	中野 福一	十月	中野 福一
十月	中根 ハナ	十月	中根 ハナ
十月	浅田 タキ	十月	浅田 タキ
十一月	秋山 敏夫	十一月	秋山 敏夫
十一月	小林 昂	十一月	小林 昂
十一月	篠崎 信夫	十一月	篠崎 信夫
十一月	笹本 清吉	十一月	笹本 清吉
平成十五年		平成十五年	
二月	小林 幸子	二月	小林 幸子
二月	雨倉 稔	二月	雨倉 稔
二月	並木 茂三郎	二月	並木 茂三郎
二十三回忌	平成八年御逝去	二十三回忌	平成八年御逝去
十月	小林 直美	十月	小林 直美
十月	滝田 忠吾	十月	滝田 忠吾
十一月	石川 雅治	十一月	石川 雅治
十一月	中野 武雄	十一月	中野 武雄

十一月	杉山 久雄	十一月	杉山 久雄
十二月	内田 五三男	十二月	内田 五三男
十二月	早川 由雄	十二月	早川 由雄
十二月	高橋 ハル	十二月	高橋 ハル
平成九年		平成九年	
一月	雨倉 淑子	一月	雨倉 淑子
一月	横田 カツ	一月	横田 カツ
一月	新井 澄江	一月	新井 澄江
一月	鈴木 スギ	一月	鈴木 スギ
二月	伊藤 健二	二月	伊藤 健二
二月	福崎 恒治	二月	福崎 恒治
二月	中野 久夫	二月	中野 久夫
二月	小林 フヂ	二月	小林 フヂ
二十七回忌	平成四年御逝去	二十七回忌	平成四年御逝去
十月	田邊 泉子	十月	田邊 泉子
十月	神藤 トメ	十月	神藤 トメ
十一月	山内 順治	十一月	山内 順治
十一月	豊泉 テル子	十一月	豊泉 テル子
十一月	中野 キク	十一月	中野 キク
十二月	中野 キク	十二月	中野 キク
十二月	石合 家	十二月	石合 家
平成五年		平成五年	
一月	島田 ノブ	一月	島田 ノブ
一月	柴田 章治	一月	柴田 章治
一月	井口 武一	一月	井口 武一
一月	島田 巧	一月	島田 巧
二月	中野 光三	二月	中野 光三
二月	島田 サカエ	二月	島田 サカエ
三十三回忌	昭和六十一年御逝去	三十三回忌	昭和六十一年御逝去
十月	時田 稔	十月	時田 稔
十月	雨倉 端午	十月	雨倉 端午
十月	岩田 けさ	十月	岩田 けさ
十月	小林 ちヨ	十月	小林 ちヨ
十月	岡部 家	十月	岡部 家
十一月	並木 トラ	十一月	並木 トラ
十二月	新井 精一	十二月	新井 精一
昭和六十一年		昭和六十一年	
二月	井上 幸蔵	二月	井上 幸蔵
二月	中野 健治	二月	中野 健治

御命日の朝。本堂でお経をよませていただいております。

## 正俊閑栖日記

- 六月の来山者合計は、九五一人でした。  
 多くの方が法事、墓参、諸活動に参加下さり、有り難く、嬉しいです。  
 寺の葬儀・法要・塔婆書きは、和正住職の主役となりました。感謝です。  
 ○朝六時、朝粥坐禅会、皆でお盆にお施餓鬼の支度。一時写経会。五時総代会。電話機配線故障。復旧にまるまる一日、牧野電機、大奮闘。 7/1  
 ○寺子屋委員会勉強会 雨倉久次郎さん所有の俳句誌を読解中。 7/2  
 ○坂麗水・福原道子さん下見来山 7/5  
 ○護持会お盆掃除 うどん供応。第二十三回土曜講座(住職・島田豊・閑栖住職。葬儀をめぐって)。坐禅会。灯笼流し全体会。 7/7  
 ○お盆通知・だより等発送。 7/8  
 ○葉師堂裏、堀、鈴木土建と相談 7/9  
 ○一番星画廊星政伸さん癌研見舞 7/10  
 ○田辺・三ツ井さん来山。写経会 7/11  
 ○鎌倉松ヶ岡文庫、鈴木大拙忌。五時東慶寺鎌禅会。七時、小澤真智子、旅するヴ

- アイオリン、帰山十一時過。 7/12  
 ○今日より十六日まで、お盆早朝坐禅会。朝六時〜七時。七人前後の参加 7/13  
 ○宗禅寺盆施餓鬼会 来山三百人。墓参も含めると五百人。琵琶(坂麗水)と横笛(福原道子)の奉納演奏。皆で片付け、客殿で打ち上げ。三十五人。 7/15  
 ○建長寺鎌倉禅研究会 星政伸さん通夜、桐ヶ谷斎場。雲龍仲間集まる。 7/19  
 ○鎌倉パークホテルで朝食会(仲田・渡部・稲毛)。横浜栄共済病院へ。 7/20  
 ○一時写経会 副島さん来山。禅センター、木彫教室なんと十六人。土曜坐禅会。法事もありにぎやかな一日。 7/21  
 ○銀座・瑤堂、写経教室へ。 7/22  
 ○建長寺開山忌、宗禅寺御詠歌講参加。私には宿忌に出る。鎌倉美学から、鎌倉堂へカメラ買う。 7/23  
 ○和正、建長寺開山忌へ。原島精次さんの葬儀。大竹さん来山。 7/24  
 ○葉山花火大会 青羅で食事。建長寺の仲間と。静かな大人の花火大会。 7/26  
 ○茗荷谷・徳雲寺 小川隆勉強会 7/27  
 ○台風来襲、土曜坐禅会参加者零 7/28  
 ○うどん教室 加藤三姉妹、青木芳郎さん、

- 多摩美淵田雄先生来山(宗禅寺文化財報告書持参)。書道教室と写経会 7/31  
 ◎七月来山者二五二人でした。  
 ○うどん教室(二期生)、田沢園仕事 8/1  
 ○鎌倉禅研究会(織田百合子・佐藤秀孝) この暑い中五十人の聴講。尾崎。 8/2  
 ○とうろう組み立て、薬師講の方で 8/3  
 ○羽村とうろう流し 今年もきれいにとうろうが流れました。皆さんのお骨折りに感謝です。太田さんと一杯 8/4  
 ○朝粥坐禅会十七人 8/5  
 ○横浜からお客様、鶴見、禅、 8/6  
 ○横浜栄共済病院 首の後ろの「ごぶ」切除手術、十一日退院。先生は羽村動物病院の醍醐先生の奥様。びっくり。 8/7  
 ○鎌倉から岸御夫妻来山。精進料理のことについて懇談。坐禅会ちよっと 8/11  
 ○越生・正法寺施餓鬼法要。宮下家の墓参、大奥様、斎藤夫妻に会う。 8/13  
 ○小川・円光寺施餓鬼から鎌倉・建長寺親と子の土曜朗読会七百回記念大会に出席。急に挨拶を依頼される。終わって大仏さん美智子グループで食事。 8/14  
 ○砂川・流泉寺伊藤正彦和尚(八十歳)弔問に和正と。 8/15

○横浜栄共済病院で抜糸。建長寺の仏像の写真をとる。途中でバッテリー切れ。

8 / 17

○雨倉みよ子家、奈緒美さん結婚式へ。淑子と二人で。帰り寿久さんの車

8 / 18

○蓼科へ 山荘に泊まり。温泉、白駒の池めぐり(だいぶ疲れました)。四時、徳雲院で小川先生勉強会

8 / 20

○写経の会二時。寺子屋委員会勉強会八人。終わって淑子さんの家庭料理。

8 / 21

○稲垣歯科へ。折れた歯、一日で修復

8 / 22

○福生・千手院服部照親和尚葬儀。鎌倉

# 和正和尚日單

○総代会 毎年七月一日はお寺の総代会で

す。お施餓鬼、雨倉家の土地取得、大野総代長退任、高井ヨキ七回忌など、議題多数。

7 / 1

○寺子屋委員会 羽村の俳諧

7 / 2

○認知症カフェ 羽村市福祉健康部高齢福

塾、海の家クイックシルバーバーで坐禅。そして懇親会。台風の波風を聴きながら、しばしの禅定。よかったです。

8 / 24

○宗禅寺土曜講座(住職・田村しおりさん、加藤家三姉妹)楽しい会でした。

8 / 26

○銀座・瑤堂、写経の会。六時、薬師講役員会。お薬師様の大祭の件。

8 / 27

○上野・宋雲院にて佐々木閑先生の「仏陀」の勉強会。

8 / 31

◎八月来山の方、八九六人でした。

○鎌倉 てらこやアワードで大仏へ

9 / 1

○朝粥坐禅会 いくらか涼しく

9 / 2

○麟祥院、臨済録勉強会(小川先生)

9 / 3

社介護課の方と福ら笑の鈴木さん来山。

認知症カフェの会場下見。十一月二十二日午後開催決定。

7 / 4

○下見 坂麗水さんと福原道子さん来山。

お施餓鬼で薩摩琵琶と篠笛を演奏して下さいます。

7 / 5

○護持会清掃とうどん教室 護持会と薬師講役員の皆様がお盆前の境内地清掃をしてくださいました。お昼はうどん教室の

○青梅新町、魚双で旧友会 9 / 5  
○鎌倉禅研究会(彭丹・榎本涉各先生)。終わって尾崎で一杯。 9 / 6

和正住職や皆様のおかげで、宗禅寺や仕事の量も減ってきました。鎌倉禅研究会と土曜講座が主な仕事です。最近、銀座での教室が加わりました。あとは、鈴木大拙居士の松ヶ岡文庫、てらこや、鎌倉塾です。おかげさまで、本を読む時間もてるようになりました。宗禅寺寺子屋教室は島田秀男文庫長が頑張ってくれています。有り難いことです。

手作り手打ちうどん。 7 / 7

○土曜講座 島田屋島田豊さんが現代の葬儀事情や終活についてお話しして下さいます。私は中国仏教のまとめ。 7 / 7

○灯笼売り歩き 暑い中、薬師講の皆様が川崎地区にて灯笼の売り歩いて下さる。ありがとうございます。 7 / 8

○お盆早朝坐禅会 七月お盆中毎朝坐禅会。 7 / 13 ~ 16

- 山門施餓鬼会 空調を新しくしたためか、冷房がよく効いていました。本堂満衆。近隣の和尚さん二十名がご読経して下さる。薩摩琵琶と篠笛の演奏も。片付け終了後、皆さんで謝労 7/15
- 幼稚園 毎月一回、子供たちの誕生会が行われています。誕生月を迎える親御さんは出席できるため、幼稚園へ。7/18
- 羽村水上公園 子供たちと羽村のプールへ。 7/20
- 建長寺開山忌 宗禅寺御詠歌講の皆様が御詠歌大会に参加。早朝よりバスで鎌倉へ。酷暑のため、御詠歌の巡堂は中止に。 7/23
- 建長寺開山忌 前日は父と母が鎌倉へ。私は本法要に出頭、読経。 7/24
- 少年少女禅の集い 二泊三日の建長寺での子供会。毎年お手伝いに行っております。中日は三浦での海水浴。風が強く波が高い日でしたが事故なく終了。 7/26～28
- 坐禅研修 茶道の青年部の皆様が昨年に引き続き坐禅研修に。坐禅後にお粥をいただく。 7/29
- 消防 羽村夏祭りの警戒へ。 7/29
- 
- 宗禅寺文化財 「宗禅寺の歩み」でご執筆くださった多摩美の淵田雄先生が「文化財の報告書」を作成、ご持参下さいました。境内の句碑、石塔まで網羅した完全版の完成です。 7/31
- 消防 七月の訓練。動物園駐車場で水だし。落車。 7/31
- 灯笼流し 前日に灯笼の名書き。薬師講の皆様と。 8/3
- 羽村灯笼流し 今年で三十六回目。朝から実行委員（薬師講）の皆様が川原で準備。夕刻から本番。天気にも恵まれ、無事終了。 8/4
- 朝粥坐禅会 8/5
- 鎌倉てらこや建長寺合宿 NPO鎌倉てらこやさんの建長寺合宿へ。百名の子供たちと大学生の皆様と。今年は班ごとにねぶたの山車を作る企画。最後まで参加できず。 8/8～10
- 川崎青壮年会盆踊り 8/10
- 八月盆 旧盆のお寺さんの施餓鬼巡り。越生・小川・秩父・三芳 8/13～16
- 砂川流泉寺 閑栖和尚様ご逝去のお知らせあり、夕刻に正俊和尚と弔問へ 8/15
- 消防 市役所での防災訓練の事前訓練
- 
- へ。消火器・担架・濾水器 8/16
- 建長寺土曜法話 三門下の法話の当番日で鎌倉へ。 8/18
- 羽村臨済会 河辺で謝労会。 8/19
- 谷中 父の誕生祝いで谷中へ。瑠璃花と花音と綾子さん。 8/20
- 寺子屋委員会 続・雨倉久次郎さん所蔵の資料を読む。島田文景さんと禅林寺のこと。 8/21
- 土曜講座 加藤勇次さんご兄弟皆様のお話。田村しおりさんのヴィオラ演奏。私は禅の起源を辿るその1。 8/25
- 薬師講役員会 秋の薬師大祭について。タイ焼き五十円か百円か。 8/26
- 駐車場 薬師堂裏の駐車場に大野看板さんが看板設置。 8/28
- 瑠璃花と花音 家族で千葉・鴨川へ夏の旅行。海ほたる、象の国、初めての海水浴とシーワールド 8/28～30
- 防災訓練 一分団は武蔵野小学校と三中。 9/2
- 建長寺派布教師会 本場で布教師会の会議。秋の法話大会など。 9/7

# お寺より皆様へ

## ■お彼岸の付け届けの封筒

今回のお彼岸より、皆様が納めて下さる付け届け専用の封筒を同封させていただきました。お寺の建物・境内の維持と管理は、檀信徒の皆様への付け届け（正月・お盆・お彼岸）にてまかなっております。節目節目にご持参して下さいるか、郵送して下さいかと幸いです。記載してある金額は目安になります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

## ■旧雨倉家地所（薬師堂側新境内地）

雨倉家よりお譲りいただいた薬師堂側のお寺の入口の土地ですが、早速駐車場としての造成を始めさせていただきます。新興多摩街道を横断せずに、お寺の玄関やお墓参りに行ける貴重な駐車場になります。ご活用ください。また、駐車場の看板も配置致しました。先々には、境内への車での乗り入れを制限させていただきたいと思っています。足元の不自由な方は、今迄通り本堂前にご駐車下さい。

## ■墓石の建立・改修・納骨について

宗禅寺境内の墓地でのお墓の建立・改修に関しては、檀信徒の皆様と業者さんとの

トラブルを回避するため、指定の石材業者さんを設けさせていただいております。瑞穂町の佐々木石材さんと羽村市の石善さんです。

お墓を建立・改修、お遺骨をご納骨する場合は、その旨を必ずお寺までご一報下さるようお願い致します。また、指定業者さん以外での施工をご希望される場合も、お寺までご相談下さい。よろしくお願い致します。

### 宗禅寺石材指定業者

● 佐々木石材 瑞穂町箱根ヶ崎一三五

● 石 善 羽村市富士見平二一十一四  
〇四二一五五五〇〇

▲新駐車場の看板。地元サイン工房大野様製作です。



▶ 造成中の駐車場。施工は鈴木土建様。

## 十二月八日はお釈迦様が 悟りを開かれた日です

成道会(じょうどうえ)という言葉が聞いただけです。十二月初八日附近に開かれる仏事です。お釈迦様が十二月八日にお悟りを開かれたことを讃えて、日本各地のお寺で執り行われています。

お釈迦様は人生を四苦八苦と表現されました。誰もが八つの苦しみ(生きる・老いる・病になる・死ぬ・愛する人と離別する・求めるものが手に入るとは限らない・憎しみ恨みを持つてしまふ・思い通りにならない)を経験してしまふということなのです。この四苦八苦と上手にお付き合いをしていく方法をお釈迦さまが修行の末に悟り、お弟子さん達が教えをまとも、仏教としてインドから遠く日本まで二千五百年に渡り、伝わり続けています。

今年十二月の土曜講座を十二月八日に宗禅寺成道会として開催致します。ご詠歌を全員でお唱えし、正俊和尚と和正和尚がお話しをさせていただきます。皆様のご来山をお待ちしております。

土曜講座のお知らせ

檀信徒以外の皆様の御参加も大歓迎致します。お茶代として三〇〇円。学生さんは無料です。

◆第二十五回 九月二十二日(土)十三時～十六時  
仏教講座

「禅の起源その2―菩提達摩という人―」

宗禅寺住職 高井和正  
川崎羽村の進取の気風  
郷土史家 桜澤一昭先生

「仏教と私」

元金沢文庫長 高橋秀栄先生  
◆第二十六回 十月十三日(土)十三時～十六時  
仏教講座

「禅の起源その3―東山法門―」

宗禅寺住職 高井和正  
私のしてきたこと ―島田組のことなど―  
檀信徒・島田組会長 島田弘道さん

川原野菊・地口とつろつろなど

郷土研究会 岡崎学先生  
◆第二十七回 十一月十七日(土)十三時～十六時  
仏教講座

「禅の起源その4―北宗と南宗―」

宗禅寺住職 高井和正  
硬化プラスチックの商品開発  
檀信徒・泉化工創業者 渡邊喜六さん

漆絵とその実演

漆工芸作家 並木恒延先生

◆第二十八回 十二月八日(土)十三時～十六時  
宗禅寺成道会法要(お釈迦様が悟りを開いた日)

成道会法話 宗禅寺住職 高井和正  
建長寺開山 蘭溪道隆禅師をめぐって  
閑栖住職 高井正俊

平成三十年 鎌倉禅研究会

高井正俊和尚主宰の鎌倉での聴講会です。資料代五百円と会場寺院の拝観料をご負担をいただきます。予約不要です。

◆第百四十六回 十月十一日(木) 於建長寺応供堂  
建長寺に遺された位牌  
早稲田大学大学院・廣福寺副住職  
白川 宗源 師

常楽寺時代の蘭溪道隆  
元金沢文庫長 高橋 秀栄 先生

◆第百四十七回 十一月八日(木) 於建長寺応供堂  
建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳  
法政大学講師・建長寺研究員  
彭 丹 先生

蘭溪道隆禅師をめぐって(仮題)  
駒澤大学大学院・福厳寺副住職  
采澤 良晃 師

◆第百四十八回 十二月六日(木) 於建長寺応供堂  
蘭溪和尚語録を読む  
鎌倉禅研究会主管 高井 正俊

蘭溪道隆をめぐって(仮題)  
新潟大学准教授 土屋 大祐 先生

※いずれも時間は十三時～十六時半です。

宗禅寺毎月の活動  
お寺で新たな自分の発見を―

- 朝粥坐禅会……毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、禅の作法でおかゆをいただきます 10/7 11/4 12/2
  - 土曜坐禅会……毎週土曜日 子供:夕6時～7時 大人:7時半～9時半 繰り返し繰り返し深い呼吸を。イス坐禅もあります ※年内は12月15日まで。
  - 彼岸早朝坐禅会……彼岸中(9月20日～26日) 毎朝6時～7時開催。短い時間で初心者向きです。
  - 土曜講座……毎月一回の勉強会。13時半～16時半地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。 9/22 10/13 11/17 12/8
  - 写経会……毎月1日、11日、21日、1時～3時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。 ※正月元旦はお休みです
  - 御詠歌……毎月第1・3火曜日 1時半～3時 指導:高井淑子
  - 手打うどん教室……現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
  - 木彫教室……毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師:新井達矢先生 場所:宗禅寺禅センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は要別途)
  - 俳句教室……毎月1回、適宜。問い合わせ先:中野つたえ ☎554-2444
  - 尺八吹禅の会……毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ:坂井陵童 ☎554-3273
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 ―活動中です―  
○宗禅寺禅センターをお使い下さい。